

令和6年度（2024年度）事業計画書

1. 概要

今年度も、公益財団法人としての組織運営を引き続き適切に実施するとともに、地域住民の交流を促進する活動を行っていく。

2. 事業活動計画

(1) 森林等における環境保全活動の主催・実施等

5月18日（土）には、飯能・西武の森で「記念植樹」と新緑の水辺・里山ハイキングを自由参加型で開催する計画である。これは、植樹とハイキングを通して、環境保全の重要性を認識してもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

6月29日（土）には、飯能・西武の森で「ホテル鑑賞会」を定員参加型で開催する計画である。これは、水田を復元することにより、ホテルの棲む里山の環境の素晴らしさと保全の大切さを参加者に認識してもらうなかで、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体主催の環境イベントへの出展で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

夏頃には、新規の取り組みとして、飯能・西武の森で「間伐体験」と「ドローン操作体験」を定員参加型で開催する計画である。「間伐体験」は、指導員のもと、のこぎりを使って「間伐体験（枝打ちと間伐）」およびナラ枯れ木の伐採見学により森づくりを学習する。

また、「ドローン操作体験」は、上空から飯能・西武の森を観察する。これらを通じて環境保全の重要性を認識してもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

秋頃には、新規の取り組みとして、埼玉県熊谷市で、埼玉県の魚「ムサシトミヨ」（絶滅危惧種）観察学習会を定員参加型で開催する計画である。これは、埼玉県の魚「ムサシトミヨ」の観察学習・現地の生息地を訪ねることで、絶滅危惧種の保護の大切さを学んでもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、財団ホームページおよび自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

令和7年2月頃には、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センターで、「里山体験（落ち葉掃き）」と「焼き芋作り」を定員参加型で開催する計画である。これは数多くの哺乳類、昆虫、植物などが棲む丘陵で「里山体験（落ち葉掃き）」を行い、最後にかき集めた落ち葉での焼き芋作りのなかで、環境保全の重要性を認識してもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

3月頃には、飯能・西武の森で「記念植樹」と桜の名所、水辺・里山ハイキングを自由参加型で開催する計画である。これは、植樹とハイキングを通して、環境保全の重要性を認識してもらおうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ参加希望者を公募する。

参加者に安全・安心・快適に環境保全地域交流活動に参加してもらえるようにイベント時の不測の事態への備えとしての各種保険への加入や警察、消防、医療、各行政機関への連絡体制と調整を行う。

さらに、飯能・西武の森「ほほえみの丘」植樹地の除草・施肥等の整備を実施し、樹勢の衰えた樹木の育樹を促進していく。

(2) 環境保全をテーマにした各種イベントへの出展・協賛

さまざまな行政機関や諸団体が実施する環境保全をテーマにした各種イベントに出展し、当財団の活動内容を報告していく。実施する活動を通じて、環境保全の意義を広く周知し、地域社会における環境保全活動・交流活動の推進をするとともに、青少年の健全な育成や地域社会の健全な発展につなげていく。

具体的には、環境フェスタ2024（はんのう市民環境会議主催）、西川材フェア（飯能市商工会議所主催）に出展し、当財団の環境活動、交流活動、支援活動等のPR・広報活動を行っていく。

また、飯能市立飯能第一小学校の森林学習（はんのう市民環境会議主催）において、地元小学生に対し、田植え、稲刈り、里山での間伐・落ち葉掃き等の体験学習のサポートを行う。

3. 管理部門

- ・評議員会及び理事会の開催
- ・事務スペースの賃借、リース契約等、財団運営のための適切な事務業務の遂行
- ・業務マニュアル・手順書等の整備並びに着実な運用
- ・その他官公署等への対応

以 上